

松の木の美しき京都復活を願ひて

まつぶうけい
松風景再生シンポジウム
in京都

松のある風景は、
景勝地や社寺にとって欠かせない
日本を代表する風景です。
今、松のある風景が松枯れにより
急速に失われつつあります。
ここ京都においても、
日本三景天橋立や著名な庭園などに
暗い影を落としています。
古くから詩に詠まれ絵画に描かれてきた松は、
現代においても
日本文化の中に強く根付いています。
今こそ消えゆく松のある風景の
文化的価値を再確認し、
その保全に取り組む必要があります。
日本文化を育んできた
松のある風景を後世に伝えることは、
現代に生きる我々の共通の責務です。
松のある風景の再生について、
みなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

日時

平成18年11月12日(日)

受付開始 12:00

開 会 13:00

終 了 16:30 (予定)

場 所

京都テルサ 1階 テルサホール
定員800名(満席の場合は、立ち見となります)

参加費/方法

無料(事前申込不要)

ただし、混雑を避けるため事前申込を励行します。事前申込された方には参加証と併せて記念品を進呈します(先着800名)。事前申込は、裏面に必要事項を書いてFAX、またはe-mailにてお申し込みください。

講演

「絵図にみられる
松風景」

おぐら じゆん いら

京都精華大学教授 小椋 純一



「天橋立と日本文化」

国際日本文化研究センター教授

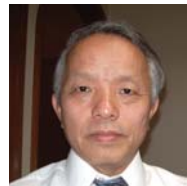
しら ほと しょう ざぶ ろう
白幡 洋三郎



「松に迫る危機」

京都大学大学院農学研究科教授

ふた い かず よし
二井 一禎



展示

いけばな展

「松の風景」

NPO法人

いけばなネットワーク21京都



天橋立名松

リバース作品展

天橋立名松リバース実行委員会



主 催: 林野庁 近畿中国森林管理局、京都府、独立行政法人森林総合研究所関西支所

協力(予定): <教育・研究機関>京都嵯峨芸術大学、京都精華大学、京都大学、京都府立大学、国際日本文化研究センター、独立行政法人林木育種センター

<地域活動団体>天橋立を守る会、天橋立名松リバース実行委員会、NPO法人いけばなネットワーク21京都、京都「おやじの会」連絡会、京都市小学校野外教育研究会

<社寺・講演協力>鹿苑寺(金閣寺)、大覚寺、株式会社京都吉兆

後援(予定): 文化庁、環境省京都御苑事務所、京都府教育委員会、京都市、宮津市、与謝野町、京都市教育委員会、宮津市教育委員会、与謝野町教育委員会、京都樹木医会、

京都府神社庁、財団法人日本緑化センター

デザイン企画協力: 株式会社フェアウインド、自然堂有限会社

(順不同)